

公民館月報

K O M I N K A N G E P P O



特集 第20回 公民館全国セミナー参加報告

4.5

- 2 トピックス 県公連第3回理事会・第2回評議員会開催
- 3 視点 「公民館講座の企画・運営を初めて体験して！」
- 3 ひろば 鶏を飼って気づいたこと
- 6 実践記録シリーズ 三年間の健康登山
- 7 サークル交流 世界にひとつ 自分達の曲を委嘱で(燕市) / レクリエーションダンスで楽しい人生(新潟市)
- 7 素顔拝見 山田真由美さん(柏崎市) / 小山 武志さん(新潟市白根地区)



「わらで干支の丑をつくろう」

弥彦村

表紙解説

平成9年から、わらで干支を作るというこの事業ですが、
 毎年参加してくれる人がいて、十二支が揃う日も近い…
 干支が全部揃うまで続けていきたいと思えます。

平成20年度事業報告・平成21年度の目標と方針を確立する

本年度は、社会教育法が施行されて60年の節目の年にあたります。さらに、昨年6月に社会教育法の一部改正が行われました。公民館関係者の意識のあり方や公民館の管理運営に関し、きわめて重要な改正となりました。特に、公民館の運営能力の向上に係る条文が新たに社会教育法第32条として明記され、これまで重要な改正となりました。公民館は、その運営状況に関する評価と改善、それについての地域住民への説明責任が従来以上に強く求められることになりました。

県内の公民館では、市民センターやコミュニケーションの機能の導入等により、多機能・複合化の動きも出ており、また、公民館連通連合会では、公民館が生涯学習推進の中核として学びの拠点、地域づくり・人づくりの拠点として一層重要な役割を果たすため、各行政機関・組織と連携し、地域住民の理解・協力を得ながら、次の5点を重点施策として取り組む所存です。

- (1) 関係上部組織とのより一層の連携強化
- (2) 職員の資向上を図る研修事業の実施
- (3) 情報提供事業の充実・拡大
- (4) 事業の自己評価
- (5) 財政基礎の強化(自主財源確立への努力)

このように厳しい社会情勢の中にある、公民館の役割や存在意義が改めて問われている今日、新潟県公民館連合会では、急速に進む核家族化や少子高齢化、地域住民の価値観の多様化、到来した団塊世代への対応等を含めて、これらの諸問題を直近の重要課題としてとらえ、対応せざるを得ない状況にあります。

そこで、今年度は、公民館が生涯学習推進の中核として学びの拠点、地域づくり・人づくりの拠点として一層重要な役割を果たすため、次の5点を重点施策として取り組む所存です。

今年度は、社会教育法が施行されて60年の節目の年にあたります。さらに、昨年6月に社会教育法の一部改正が行われました。公民館関係者の意識のあり方や公民館の管理運営に関し、きわめて重要な改正となりました。特に、公民館の運営能力の向上に係る条文が新たに社会教育法第32条として明記され、これまで重要な改正となりました。公民館は、その運営状況に関する評価と改善、それについての地域住民への説明責任が従来以上に強く求められることになりました。

県内の公民館では、市民センターやコミュニケーションの機能の導入等により、多機能・複合化の動きも出ており、また、公民館連通連合会では、公民館が生涯学習推進の中核として学びの拠点、地域づくり・人づくりの拠点として一層重要な役割を果たすため、各行政機関・組織と連携し、地域住民の理解・協力を得ながら、次の5点を重点施策として取り組む所存です。

- (1) 関係上部組織とのより一層の連携強化
- (2) 職員の資向上を図る研修事業の実施
- (3) 情報提供事業の充実・拡大
- (4) 事業の自己評価
- (5) 財政基礎の強化(自主財源確立への努力)

このように厳しい社会情勢の中にある、公民館の役割や存在意義が改めて問われている今日、新潟県公民館連合会では、急速に進む核家族化や少子高齢化、地域住民の価値観の多様化、到来した団塊世代への対応等を含めて、これらの諸問題を直近の重要課題としてとらえ、対応せざるを得ない状況にあります。

そこで、今年度は、公民館が生涯学習推進の中核として学びの拠点、地域づくり・人づくりの拠点として一層重要な役割を果たすため、次の5点を重点施策として取り組む所存です。

- 1 公民館事業・講座取組実践事例集～公民館事業・講座取組実践事例集～を発行しました。ぜひ、公民館の現場でご利用ください。
 - 2 青少年体験事業
 - 3 地域づくり事業
 - 4 世代間交流・同世代対応事業
 - 5 健康・環境対応事業
 - 6 人材育成事業
 - 7 その他の事業
 - 8 文部科学省委託事業
 - A4判 全126ページ 予定価格900円
 - 問い合わせ：新潟県公民館連合会 電話：025-224-6073
- ～公民館事業・講座取組実践事例集～
公民館事業・講座取組実践事例集
を発行しました。ぜひ、公民館の現場でご利用ください。

実践事例集

公民館連通連合会
公民館事業・講座取組実践事例集
を発行しました。ぜひ、公民館の現場でご利用ください。



第2回評議員会

- 1 市民教育委員会として、市民教育の推進を図る。
- 2 市民教育の推進を図る。
- 3 市民教育の推進を図る。
- 4 市民教育の推進を図る。
- 5 市民教育の推進を図る。
- 6 市民教育の推進を図る。
- 7 市民教育の推進を図る。
- 8 市民教育の推進を図る。
- 9 市民教育の推進を図る。
- 10 市民教育の推進を図る。
- 11 市民教育の推進を図る。
- 12 市民教育の推進を図る。
- 13 市民教育の推進を図る。
- 14 市民教育の推進を図る。
- 15 市民教育の推進を図る。
- 16 市民教育の推進を図る。
- 17 市民教育の推進を図る。
- 18 市民教育の推進を図る。
- 19 市民教育の推進を図る。
- 20 市民教育の推進を図る。

- 1 本年度の「基本方針」を、市民教育の推進を図る。
- 2 本年度の「基本方針」を、市民教育の推進を図る。
- 3 本年度の「基本方針」を、市民教育の推進を図る。
- 4 本年度の「基本方針」を、市民教育の推進を図る。
- 5 本年度の「基本方針」を、市民教育の推進を図る。
- 6 本年度の「基本方針」を、市民教育の推進を図る。
- 7 本年度の「基本方針」を、市民教育の推進を図る。
- 8 本年度の「基本方針」を、市民教育の推進を図る。
- 9 本年度の「基本方針」を、市民教育の推進を図る。
- 10 本年度の「基本方針」を、市民教育の推進を図る。
- 11 本年度の「基本方針」を、市民教育の推進を図る。
- 12 本年度の「基本方針」を、市民教育の推進を図る。
- 13 本年度の「基本方針」を、市民教育の推進を図る。
- 14 本年度の「基本方針」を、市民教育の推進を図る。
- 15 本年度の「基本方針」を、市民教育の推進を図る。
- 16 本年度の「基本方針」を、市民教育の推進を図る。
- 17 本年度の「基本方針」を、市民教育の推進を図る。
- 18 本年度の「基本方針」を、市民教育の推進を図る。
- 19 本年度の「基本方針」を、市民教育の推進を図る。
- 20 本年度の「基本方針」を、市民教育の推進を図る。

視点

「公民館講座の企画・運営を初めて体験して！」



生涯学習センターボランティア 吉田 保雄

昨年4月、日ごろ講座や研修の受講生でしかない私たちのグループに、講座の運営をやってみないかと言われた時は、突然のことでビックリしました。恐れを知らぬ素人スタッフ4人、意見一致、挑戦することにしました。

講座名は「もう一つのライフワークを見つけよう!」。中高年の男性にボランティア活動の現状を知ってもらおう、参加してもらおうということが目的です。

内容は「河田圭子先生の講演」、「菜園で野菜の収穫作業の体験」、「採った野菜を使って料理実習」、「スタッフのボランテア体験」と参加者自身のこれからやってみたいこととの話し合いの全4回でした。スタッフも必死に、企画・講師折衝・農園での指導・料理の指導・各講座の司会進行と各自の持ち味を出し合い頑張りました。

講座終了後、講座の参加者、ご意見を頂いた公民館スタッフ、私たちスタッフと三者で開いた反省と交流の会では大いに盛り上がり、また一つの交流の輪が広がりました。終わってみて今、よい経験ができ、今後のボランテア活動にもプラスになると、大いに感謝しています。

H O T N E W S 掲 示 板

平成20年度第3回関プロ理事会開催

◇日時 平成21年2月20日(金) 14:00~16:00
◇会場 甲府市 ホテルフジオ
◇次第

- 1 あいさつ
関プロ公連朱膳寺会長
全公連石川事務局長
山梨県教委社会教育課大堀課長
- 2 議事
 - (1) 第49回関プロ研究大会(千葉大会)報告
※記録集参照
 - (2) 平成20年度関プロ公連事業報告・収支決算・監査報告
※承認
 - (3) 第50回関プロ研究大会(山梨大会)について
平成21年8月27日(休)~28日(金)
会場:山梨県富士河口湖町
 - (4) 関プロ公連会則改正・役員選考等内規について
※承認
 - (5) 平成21年度役員案
※内規に基づいて提案・承認
 - (6) 平成21年度関プロ公連理事会日程等確認
- 3 情報交換
- 4 その他
全国公民館研修大会(案)について(参加依頼)
会場:東京国際フォーラム(有楽町)
10月15日(休):各県公連会長、事務局長研修会
10月16日(金):一般会員参加(式典・講演会・シンポジウム)
- 5 閉会あいさつ:持田副会長

ひろば

鶏を飼って気づいたこと

上越市公民館運営審議会委員 江口理恵子

私は鶏を飼っています。同居の義父が孫に新鮮な卵をと、四年前にヒナを買ってきたのです。夫と息子が日曜大工で大きな鶏小屋と、隣に柵で囲んだ遊び場を作ってくれました。

鶏の世話は主に私の係となり、当然鶏も私に一番なつくようになりました。晴れた日には、家の周りで喜んで土を掘り、砂浴びをし、ミミズや虫を追っかけている姿を見るにつ

け、今、日本で飼われている鶏のほとんどは土の感触も知らないまま死んでゆくのだなと哀れに思う。

昔ながらの狭いケージで飼われていれば体の向きも変えられず、羽を広げる事もできない。鶏が家畜であ

る以上、間違いなく決まった最後がある訳だけど、命を捧げてくれる者達が生きている内は、せめて生き物らしく扱われてよいのにと思うのですが。着せ替え人形の様な犬がいる一方で、別の意味で動物らしく扱われない命。変わり者と言われるでしょうが、私はせめて自分の飼っている鶏は鶏らしく、幸せにしてやりたいなと思っています。



全国セミナー参加報告



新潟市西川地区公民館
福田 淳史

セミナー2日目午後からの報告をします。

「いまさら聞けない 公民館の常識力養成講座」

ということ、廣瀬隆人氏（宇都宮大学生涯学習

教育研究センター教授）と伊東静一氏（福生市民

会館・公民館長）から公民館のできた理由から基

本的な役割などについて学びました。

「公民館・社会教育の謎・不思議10」というこ

とで、「なぜ、公民館は、教育機関なのに教員が

いないのか。」「公民館の『公民』って？」、「社

会教育と生涯学習って、なにが違うの？」など10

の項目について説明がありました。

その中で、「公民館で学習したことは、地域に

還元しなくちゃならない？」という項目について、

「地域還元は、自発的に出てくるものであり、職

員から要求するものではない。そういった気持ち

になるような講座の進め方の工夫やその気持ち

を活かせるような場所をつくり、それを支えること

が公民館の役割である。」と説明され、講座を企

画していく原点を改めて考えさせられました。

テーマは、「いまさら聞けない・・・」となっ

ていました。公民館1年目の私としては、「い

まだから聞きたい」内容を学ぶことができました。

最終日は、「これからの広報戦略と魅力的な紙

面づくり」をテーマに、広報紙フタバサイサーの芝

沼隆一氏から講義がありました。

まず、いい文章を書こうとしすぎると、かえっ

て書けなくなるので、思ったとおりに書いてみる

ことが大事ということでした。

次に、広報紙を作るうえでいくつかのポイント

の説明がありました。

①文書ではなく、文章であることを認識し、難し

い言葉を分かりやすい言葉に変えるなどして、

読み手に分かりやすい紙面づくりをしなければ

いけない。

②読んでもらえるような魅力的な見出しをつけな

くてはならない。（～についてなど見出しで

は読んでもらえない。）

③写真は、枚数をしほって、大きいものと小さい

ものを組み合わせるようにしてインパクトのあ

る紙面にする。（読む人は、まず写真や絵が目

がいく、その後見出しで、中身は最後）

④紙面のはじめに、地域のごきわかる記事を

持っていていき（動の記事）、その後にお知らせ

などの記事（静の記事）を乗せていくことが大事。

⑤記事には、地域の人の声や顔を載せる。そのた

めには、現場に出て写真を撮ることや、インタ

ビューで現場の声を聞いてくることがとても大

事。机の上だけで作ったものは、絶対に面白く

ならない、ということでした。

最後に、いきなり素晴らしいものを作ろうとせ

ず、徐々にいいものを作っていけばいいので、ド

ンドン地域に出て行き、現場をみて、声を聞いて

もらいたい。公民館報は地域に最も近い新聞だか

ら、たくさんの人に読んでもらえる魅力的な公民

館報にしてもらいたい、ということでした。

3日間を通して、貴重な講演と全国の公民館職

員から現場の様子を聞いた経験を今後の仕事に活

かしていきたいと思います。

特集

第20回 公民館



新潟市生涯学習センター
学習支援係 金子 容子

平成21年2月16日からの3日間、国立オリンピック記念青少年総合センター（東京都）で行われた第20回公民館全国セミナー。北は北海道、南は沖縄県まで、全国から72名の公民館関係職員が集まり、これからの公民館のあり方や、魅力的な事業・運営を学んだ。

○1日目 [特別講演]

「公民館にかかわる最近の動向」

文部科学省生涯学習政策局地域・学校支援推進室長
佐藤弘毅氏

中教審の答申や教育振興基本計画等を踏まえ、今後、社会教育関係機関・学校など、関係機関の連携・ネットワークがより重要になっていくことなどが語られた。

○[シンポジウム]

「公民館評価について考える」

公民館のあり方や公民館評価について、各界で活躍中の4名により意見が交わされ、社会教育・公民館がおかれる現実を学んだ。

公民館は指定管理への移行論議でターゲットにされやすいが、それに打ち勝つためには市直営の公民館が指定管理（民間）と比べ“いい！”という地域・市民の評価が得られるか否かにかかっている。「市長が飛びつく」マニフェストになるような仕掛けをうち出していくことも必要では。（野田市市長 根本 崇氏）

行政の共通フォーマットで評価を受けることは避けられない。しかし行政評価も始まったばかり。つまり「未成熟」である。行政評価とは別の、公民館の使命や目的を踏まえた独自の評価軸をつくり、自分たちの今後の活動につなげることが必要では。（国立教育政策研究所社会教育実践研究センター 稲葉 隆氏）

「○人定員の講座に○人集まった」→「講座の目的は何だったのか」に対する評価でなくては意味が無い。社会教育とは何なのか。単なる「サービス」を求められているのではないことを忘れてはならない。また評価の数値には説明をつけるなど「数値の見せ方」を考えるべき。（NPO法人教

育支援協会 吉田博彦氏）

社会教育法は“ザル法”といわれる。それこそが社会教育を象徴しているのでは。すべてを法律で規制されていないからこそ、我が市・我が町のニーズにあった公民館をつくらなければ。（財全日本社会教育連合会理事長 加藤雅晴氏）

○2日目 [ワークショップ]

「行列のできる講座とチラシのつくりかた」

吉田清彦氏（調理師&プランナー）

人が集まる講座と集まらない講座はどこがちがうのか、チラシを分析しながら考える講義・ワークショップ。

「企画とは、だれに、何を、どのように」

企画で重要なのはターゲットの設定であり、ターゲットに届く広報手段・タイトル・講座開設時期・回数等を吟味することが「人が集まる講座」へ近道であることを改めて学んだ。

今回の研修は、講座受講以外に、参加者同士が寝食も共にするという非常に濃密なものであったが、それゆえ、互いの情報交換が積極的に行われ、よい刺激を受け合えた。大変有意義な研修会であった。

※ 公民館の活動は現在の行政評価になじまないとか、評価されたくないという公民館職員は多いが、これはただ“変な人から評価されることがイヤ”なのであって、評価されないとか、評価しないということはありません。「評価」は客観性と妥当性の問題であり、また科学的なもの。日本は欧米等と比べ（研究が）遅れていて、評価の結果に疑問を持たない、感じない民族だ。なぜこの事柄をこの設問で回答させるのか、本当にその設問でよいのか、設問の文言を変えると別の回答に変わるのではないかなど「評価」ということについて知識を持つ必要もあるのでは。

評価に大切なのは「信頼関係」。評価項目を作る人・評価を受ける人が合意の下で（信頼）生まれる評価であれば評価に対する考え方も変わっていく。（NPO法人教育支援協会 吉田氏）

行政を取り巻く現状をふまえると、発想の転換が必要だと感じた。

※ 参加者は、館長職から公民館職員1年目まで多岐にわたり、問題意識も様々であったが、どの立場からも社会教育・公民館がおかれる現実を認識させられた時間であった。

美珠登山記録

132

三年間の健康登山

関川村生涯学習課 安久 昭男

1. 目的

公民館の事業として登山が始まったのは随分前からですが、年一回の登山ではあちこち痛むだけで却って悪いという声がありました。また、以前から村民の中に村の最高峰机差岳に一度は登りたいという希望がありました。そこで登山シーズンの4月から11月までの月1回、低い山から順に登って、3年後に机差岳を目指すことを目標にこの講座は始まったのです。

2. 三年間の実績

回数	期日	山	参加者数
18年度会員数62名			
1	4/22	角田山	46
2	5/27	牟礼山	42
3	6/24	菅名岳	34
4	7/23	西吾妻山	雨天中止
5	9/30	倉手山	22
6	10/21	大鏡山	21
7	11/11	高坪山	26
19年度会員数58名			
1	4/21	立烏帽子	雨天中止
2	5/21	朴坂山塊縦走	24
3	6/24	光鬼山	25
4	7/21	西吾妻山	雨天中止
5	9/30	葉山(長井)	25
6	10/15	二王子岳	24
7	11/11	高坪山	18
20年度会員数63名			
1	4/19	五頭山塊縦走	雨天中止
2	5/11	御神楽岳	29
3	6/23	祝瓶山	23
4	7/5	西吾妻山	28
5	8/2-3	机差岳	14
6	9/6-7	机差岳	8
7	10/18	櫛形山脈縦走	33
8	11/8	朴坂山	27
三年間の参加者数 469名			

年度当初にその年の計画、目標を決め、会員を募りました。会員にはその月の山に登るために日頃からウォーキングなどの運動をするよう指導し、運動の日常化、習慣化を目指しました。

登山というスポーツの特殊な点は自然を相手にしている点にありますから、不測の事態が起きないように努め、起きた場合も対処できるようにしなければなりません。そのため、必ず下見を行うこと、天候への注意、同行スツットの確保など難しさはありましたが、三年間無事故で当初の目標を達成することができました。

三年間の最初の山、角田山



二年目の最高峰は二王子岳、背後に机差岳がのぞいている。

3. 課題

会員の中にはこの健康登山を契機にして定期的に山に登るようになった人もいますし、その体力作りのためのウォーキングを習慣化した人もいます。

また、会員間でグループを作り活動を始めるような動きもありました。しかし、以前と同様公民館でやらなければ登山もしないという人も多そうです。

期間中に安全登山と題した5回シリーズの講習会を別に設けて知識の面でも登山を深められる機会を設けましたが、主体的に山に登らなければこの知識も生きてこないのです。

祝瓶山は三年目の六月



机差岳の前峰、鉾立峰



三年間の集大成机差岳は2回に分けて22名が参加

世界にひとつ

自分達の曲を委嘱で

吉田フラウエンコール(女声合唱)

私達の合唱団は歴史的(?)には随分永く続いて居りまして、今年で創立二十七年になります。

指揮者の熱い思い、自分の団の為に作曲して貰った曲を演奏する、という(委嘱)姿勢はずっと変わらず、昨年から若い現役の芸大大学院在学の方に委嘱するようになりました。今まで演奏した曲が何冊も本になっています。

毎年春には燕市文化会館で「ポピュラーコンサート」を、冬には吉田公民館で「クリス



マスコンサート」を開催しています。

団員が少しずつ減っているのが現状で、新会員募集中です。

来年の春には福島でジョイントコンサートを開きます。

燕市・吉田フラウエンコール

田中 夏子 記



レクリエーションダンスで 楽しい人生

月花会

「月花会」は今年で創立三十周年を迎え、下は50歳代から上は80歳代まで会員数67名のサークルです。

毎週金曜日の午前中に渡辺マチ先生指導の下、歌謡曲、ワルツ、ポップス他、色々な



曲目に合わせ踊り、練習に励んでおります。

一週間に一度、身体を思いきり動かし、会員同士の会話や笑いで会場を埋め尽くす、それが明日への活力と原動力になっています。

秋にはグループに分かれて手作り衣装で工夫を凝らし発表会を行います。私達「月花会」は健康で明るく楽しい生活を送る事が出来る様、人に対する思いやりを大事にし、これからの元気に活動していきたくて思っています。興味のある方はちょっと覗いて見てくださ。大歓迎です。

新潟市・亀田 月花会

川井 優子 記

新採用職員の笑顔の似合う山田真由美さんを紹介いたします。

昨年4月に生涯学習・体育課に配属されましたが、市民プラザが複合施設のため、当課の職員はこのほかに柏崎公民館・勤労青少年ホームの兼任辞令も貰っています。役所も公民館の仕事も初めてで、誰でも新入職員ときは電話や窓口対応が大変です。大分戸惑ったことと思いますが、よく頑張っ



柏崎市柏崎公民館

主事 山田真由美さん

白根地区公民館でご活躍、そして大人気の小山武志さんをご紹介します。小山さんは、とっても物知り。困ったことを相談すれば、巧みな話術で何でも解決！（さすが法学部卒！）職員はもちろん地域の方からの信頼も厚く、仕事以外のことまで相談にのってしまう優しい小山さんです。特に、年上の女性から人気があり、「つついかまってあげたくなる」存在とのこ



新潟市白根地区公民館

主査 小山 武志さん

素顔 拝見

と。(とある職員談。)

こんなステキな小山さんですが、なぜか独身で、そしてなぜか思考はネガティブ。口グセは「どうせ俺なんて・・・」。いつも私たちの仕事を温かく見守ってくださる小山さんにお礼を言っても、「そうやって俺のことバカにしてるでしょ。」絶対そんなことないですよ！！たまには素直になってくださいね。(新潟市白根地区公民館 馬場かおる 記)

います。

公民館の仕事は本庁の専門的な仕事と違って、幅広いうえに、公民館の役割自体がよく判りづらい。いきなり緑化講習会や公民館概観を任されても、物静かにコツコツと仕事をこなしていました。公民館の仕事や人にも大分慣れてきたようですが、笑顔を絶やさずにいてください。

(柏崎市柏崎公民館 係長 池田 順一 記)

4冊です。
 寄贈された本を、各図書館で読んでもらうことになりました。
 「寄贈」は、公館長が「寄贈」した本を、社団法人国民図書館連合会が、各図書館に寄贈することです。
 本会が寄贈した本は、各図書館に寄贈されたものと見なされ、各図書館で読んでもらうことになりました。



社団法人国民図書館連合会
 「国民図書館図説」(復刻版)を各館へ寄贈

- ⑤ 全国各都道府県の公共図書館を例とする寄贈の普及を図るため、国民図書館連合会が、各都道府県の公共図書館に「国民図書館図説」(復刻版)を寄贈することとした。
- ④ 国民図書館連合会が、各都道府県の公共図書館に「国民図書館図説」(復刻版)を寄贈することとした。
- ③ 国民図書館連合会が、各都道府県の公共図書館に「国民図書館図説」(復刻版)を寄贈することとした。
- ② 国民図書館連合会が、各都道府県の公共図書館に「国民図書館図説」(復刻版)を寄贈することとした。
- ① 国民図書館連合会が、各都道府県の公共図書館に「国民図書館図説」(復刻版)を寄贈することとした。

国民図書館図説(復刻版)資料寄贈のお知らせ

社団法人国民図書館連合会
 編集 小寺中 監修 櫻井修司

本会が寄贈した本は、各図書館に寄贈されたものと見なされ、各図書館で読んでもらうことになりました。
 「寄贈」は、公館長が「寄贈」した本を、社団法人国民図書館連合会が、各図書館に寄贈することです。
 本会が寄贈した本は、各図書館に寄贈されたものと見なされ、各図書館で読んでもらうことになりました。

2009春の特別展
 みんなでサニツ博!
 大昔り加サニツ博
 ～折鶴から宇宙開業まで～
 3月14日(土)～4月5日(日)
 NHGATA SCIENCE MUSEUM
 〒951-8053 新潟県新潟市中央区川崎町2-9
 TEL 025 285-7161 FAX 025 285-1776

④ NHGATA SCIENCE MUSEUM
 新潟県立自然科学館
 〒951-8053 新潟県新潟市中央区川崎町2-9
 TEL 025 285-7161 FAX 025 285-1776

大切な子どもたちのために
 日本の将来を担う大切な子どもたちや地域住民の安全を確保するため公立学校施設の耐震化を推進しています。

新潟県公立学校施設整備促進期成会
 会長(出雲崎町長) 小林 則 幸
 新潟市中央区新光町4-1 新潟県自治会館内
 TEL 025 (285) 0041 FAX 025 (285) 1609

新潟県公民館連合会

発行所 新潟県公民館連合会
 〒951-8053 新潟県新潟市中央区川崎町2-9 県林業会館内 TEL FAX 025 224-6073
 発行人/会長 鈴木正行 編集人/事務局長 相澤健蔵 Eメール/ nikocon.ni.jp
 【定価1部150円 年刊1,800円】
 印刷/第一印刷所 〒950-8724 新潟市中央区平和町4-18 TEL 025 285-7161 FAX 025 285-1776